

広報



まくべつ

49・4・30

町のうごき

| | |
|----------|---------|
| 人口 | 19,005人 |
| 男 | 9,524人 |
| 女 | 9,481人 |
| 世帯数 | 4,482戸 |
| (49.2現在) | |

発行 幕別町役場 / 編集 町民課広報係 / 電話42111番 / 印刷 大同出版(株)



ぼくは一年生

交通のきまりを守ります

○：4月9日の朝は、入学式にふさわしい天候にめぐまれ、新しい服装に身を包んだ一年生の足どりは勇む。白人小学校の入学式に初登校。真白いワイシャツにイキナネクタイをしめ、おかあさんの手を固くにぎって校門を通る。

○：国道38号線が白人小学校の北側を走っていることもあって、交通量はげしい。

小学校1年生は、お父さん、お母さんのもとから、はじめて1人歩きをはじめたばかりのため、交通事故のおそろしさ、交通のきまりは、よくのみこんでいません。

車道を歩いたり、物かげから突然とび出すことも多いのではないかと思います。そのような時には他人の子供さんでも、よく注意してあげましょう。

この広報のモデルになったことも皆さんに写真を差し上げますので役場広報係までおいで下さい。

一般会計 総額 22億4,253万円 決る

経常経費の抑制

人間優先・生活環境など重点

- ▽ 昭和49年度予算を中心とする第1回定例町議会が、……△
- ▽ 3月9日から6日間開かれ、慎重審議の結果、予算を……△
- ▽ はじめ33議案を原案どおり可決。25日閉会しました。……△
- ▽ 一般会計22億4千2百53万円をはじめ、5つの特別……△
- ▽ 会計9億4千8百64万円を合せると総額31億9千1百……△
- ▽ 17万円と昨年より8億5百1万円増と大型化しており……△
- ▽ ……△

町長の施政方針

町政の基本的目標として策定した総合計画も4年「生活と生産が調和する地域社会の建設」とくに住民が望ましい近隣生活を営むことができるような地域社会の形成を目指す中で、昨年来、社会福祉優先の町政を推進してきましたが今後においても、この考え方を基本として、人間優先生活環境重視の町政をすすめてまいります。

国の総需要抑制政策の影響を受け、地方財政計画においても、公共投資が極力抑えられるといった財政状況下にあつて苦慮したのであります。経常経費の抑制を引き続き強化し、社会福祉の充実をはじめ、懸案の諸施策に有効適切な財源配分をし、昭和49年度の予算を編成しました。

編成にあつて、とくに重視した施策などについて、その方針と関連する考え方を申し上げます。

① 社会福祉の充実強化と住民生活を守る

まず、福祉の充実であります。昨年引き続き、町ができる最大の努力をかたむけ、老人福祉の増進に意を用い、老人の健康と生きがいを高めてまいりたいと思ひます。

また、児童・母子福祉の推進に關しては、災害遺児年金、在宅重度心身障害児家庭見舞金をそれぞれ50%増加するとともに、要保護世帯に対する援護については、相談業務の充実強化をはかるなど、恵まれない人たちへの血のかよつた行政をすすめてまいります。

なお、新設の保育所並びに、福祉センターが本年度より開設されますが、札内地域の急速な発展に対処し、地域住民の福祉増進をはかつてまいります。

さらに、住民生活を守ることに ついては、物価の高騰、あるいは物資の不足などにより生活に深刻

② 生活環境の整備を充実

最近における市街地域の拡散現象は、多くの問題を生じておりますが、中でも飲料水など生活水の問題が深刻になりつつあると考へております。

これに対処して、いよいよ本年度より無水地帯の解消、営農用水の確保を本格的な工事に着手する。上水道整備事業は、52年度完成をめざして、本年度およそ3億8千万円をもって仕事をすすめてまいります。

また、街路整備、公園整備など 關しては、およそ1億8千6百万円の事業費をもって、両市街地 域における生活関連道路など、都 市環境の整備をすすめてまいりま すが、この中で、とくに幕別市街 地区について、平和通り街路事業 は7千8百万円、都市運動公園整 備事業については1千7百万円を もつて、それぞれ工事を実施いた します。

さらに、街路灯の新設とこれら の維持管理などを充実し、交通安 全対策の一環として交通指導員の 常勤体制の強化などに意を用いて まいります。

主な可決議案

- 3月定例町議会で、新しくきまつた条例と条例の一部改正のおもなものはつぎのとおりです。
- 町災害遺児年金が3万6千円・幕別町災害遺児年金条例の一部を改正する条例で、いままでの2万4千円から3万6千円になり、4月から適用。
- 町敬老年金を1万3千円に・幕別町敬老年金条例の一部を改正する条例で、1万円から1万3千円に改正、4月から適用。
- 療養費の負担金は3万円まで・国民健康保険法の改正で、被保険者が同一の月に同一の病院などで療養をうけた場合、3万円をこえるときは、世帯主に対して、超過額に相当する額を高額療養費として支給することになり、また、助産費を世帯主に1万円から2万円に、葬祭費は葬祭を行う者に対して5千円から1万円が支給され4月から適用されます。
- 勤労者生活資金の貸付基金を設置・町勤労者生活資金貸付基金条例が設置され、町内に1年以上の住所を有する勤労者を対象に5万円

また、町内幹線道路網の整備について、南勢橋架換事業は2ヶ年継続、千住15号橋架換事業を施行いたします。

住宅の確保については、公営住宅・道営住宅・分譲住宅と合せて70戸の住宅が建設されることと、宅地の造成分譲も5月に分譲開始する予定であり、民間自力住宅の建設と相まって、総的に住宅不足の解消と不良住宅の改善に努めてまいります。

③ 地域に密着した産業の振興

農業は、その規模、内容からみて最も重要な産業であります。本町においては、幸い、なだれのよりに続いておりました離農現象もようやく止まる兆をみせ、一応農業経営規模の適正化のめどとともに、安定化の方向に向った感があったのであります。ご承知のように飼料の高騰など、経営経費の増高は著しく、反面乳価やビート価格など生産物価格が低くおさえられているのが現状であります。このような、きびしい情勢下ではあります。とくに酪農については、町営牧場をその核として、乳牛はもとより肉牛についても、その振興をはかってまいりたいと考えております。

牛牧場を設け、受胎の向上にも資してまいります。

稲作・畑作においても、安定した経営の確立をはかり、さらに技術の高度化、経営の合理化を進め後継者に魅力をもたせる農業を目指して、経営、技術或いは社会教育面においても努力を重ねてまいります。このうち、農業構造改善事業については、本年度から4ヶ年継続で事業を実施することになり、明倫、古舞地区、近代化施設の予算を計上いたしました。

なお、懸案の畑作共済制度についても、本年度において実施することになりました。

また、農業の生産基盤の整備については、主要道路の整備をはじめ、農用地集団化事業を積極的に

進め、これらと土地改良事業に対する町費負担を合せて、農業基盤整備事業に予算を計上しております。

一方、中小企業の育成と商工業の振興については、最近、金融引き締めが強化され、経営に不安を与えております。町といたしましては融資制度の充実をはかるために、その原資を増額し、一方金融機関の金利については、折衝の結果合意が得られ、中小企業経営の安定をはかってまいりたいと思っております。

さらに、工業団地については、昨年立地した企業は、まもなく工場建設が始められ、予定どおり操業されますし、これら新規企業の立地にあたっては、地域社会との

融和をはかる中で、町勢の発展に結びつけてまいりたいと思っております。

④ 教育環境の整備

ご承知のとおり、本町においては過疎による教育のひずみなどの問題や、義務教育費の父母負担解消に努めてまいりました。

本年度においては、引き続き札内中学校建設事業に2億円を計上いたしました。統合により閉校いたします豊岡小学校に關しましては、スクールバスを購入し、児童の通学に万全を期してまいります。

また、教員住宅の改善など、総合的な教育環境の改善につとめてまいります。

町税は歳入の9.7%

【一般会計】

昭和49年度の一般会計予算は、歳入歳出ともに総額22億4千2百53万円の主なものをひらいてみます。

歳入

歳入全体のうち町税は9.4%の2億1千7百58万円。
主な内訳は、町民税が昨年より2千5百4万円ふえて、8千5百35万円
固定資産税7千9百70万円
2千1百10万円の増。
たばこ消費税3百66万円
ふえて2千9百66万円。

電気ガス税が1千3百5万円などかなりの上昇が見込まれております。入湯税は6百50万円、昨年より50万円減、老人・町内在住者に対する無料招待券の配布などの影響で減っております。

歳入の3分の1を占める地方交付税は1億2千2百92万円、ふえて実に8億4千6百13万円を計上し、使用料・手数料5千9百9万円。

これに、国庫支出金3億5千7百10万円、道支出金1億8千3百72万円、町債2億2千7百70万円などがおもな財源です。

こしは統合中が完成

南勢橋に1億2,000万円を

歳出

の面をみることにしましょう。
歳出全体の27.1%を締める土木費が6億8百78万円、1億4千7百78万円の増。教育費は1億4千68万円、ふえて4億1千6百81万円、札内中学校統合校舎建設費2億1百94万円が含まれております。

また、農林業費

を限度とし、1年以内の貸付期間年3%の利率で貸付をします。

町中小企業に1百50万円融資。町中小企業融資条例が改正され本町において同一事業を引き続き1年以上経営するもので、1百50万円を最高に、2年以内の貸付期間とし、金融機関の利率により融資します。

交通指導員に年額2万4千円。最近の異常な交通事故を絶減するため、交通安全指導員設置条例の一部が改正され、報酬年額2万4千円を支給、また、費用弁償として幕別町職員の旅費に關する条例の3~5等級の者相当額。ただし、指導業務に従事した場合の日当の額は、9百円となりました。

分べん介助料が1万5千円。町母子健康センター条例の一部改正で、入所料8百円、分べん介助料1万5千円、1日につき、給食料5百円、もく浴料2百円、新生児介助料3百円、暖房料(2ヶ月)2百円、診察料は1回につき4百円(嘱託医者による診察)となり、町外の方々でも母子センターを利用することができます。

人権擁護委員に藤平清志。人権擁護委員の藤平清志氏の任期満了にともなう、後任候補者として、前期同様、幕別町本町の藤平清志氏が人権擁護委員法の規定により議会の同意をえて留任となりました。

▽一般会計△

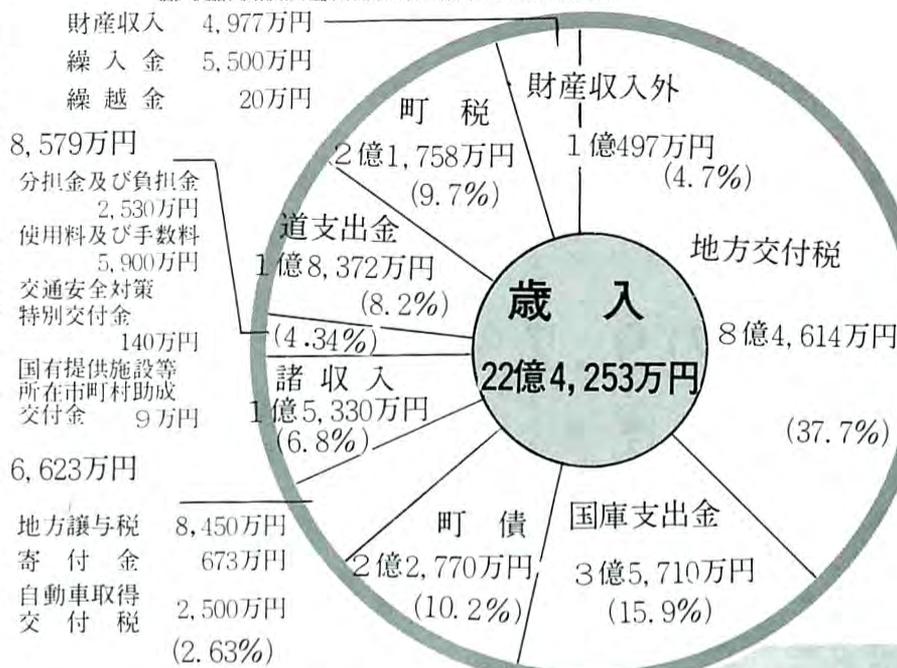
歳入歳出総額

22億4千2百53万円

町の収入

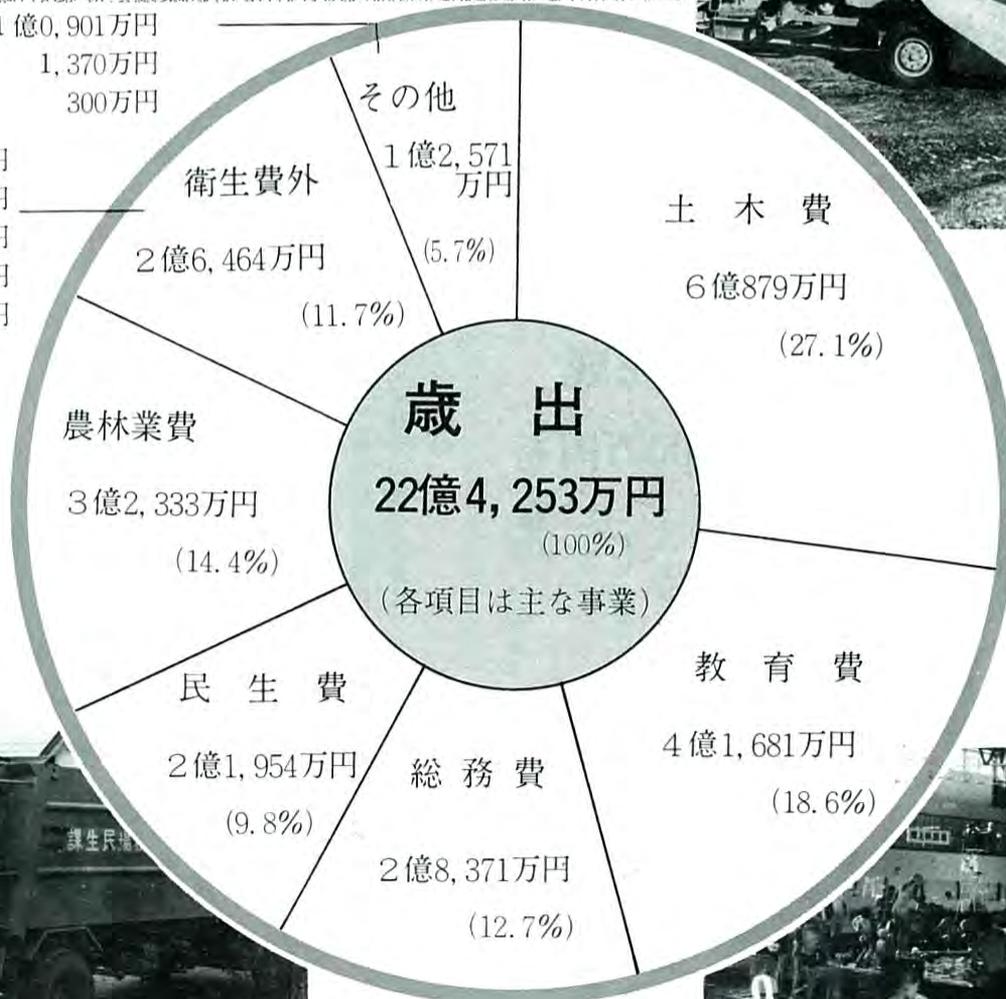
▽特別会計・企業会計△

- 国民健康保険特別会計……………2億3千16万円
- 簡易水道特別会計……………8百65万円
- 土地取得事業特別会計……………7千1百8万円
- 国民宿舎事業会計……………2億2千4百4万円
- 水道事業会計……………4億1千4百69万円



私たちの税金の使いみち

- 公債費 1億0,901万円
- 災害復旧費 1,370万円
- 予備費 300万円
- 衛生費 8,566万円
- 議会費 2,931万円
- 労働費 1,579万円
- 商工費 6,292万円
- 消防費 7,096万円



4千2百49万円増して3億2千3百33万円。総務費2億8千3百71万円。民生費の2億1千9百54万円と昨年より1千4百94万円の減公債費3千1百96万円ふえて1億9百1万円となっており、これらが主な支出です。

生活環境の整備事業

そくそくと道路や橋 3億4千1百28万円……道路の改良は、幹線道路として日新線ほか2ヶ所、農道として豊岡農道ほか1ヶ所を行い、舗装は、平和通り街路ほか6ヶ所を行う。このほか、交通安全施設として幕別北1丁目ほか歩道造成8百80mを予定しています。

橋梁の整備は、永久橋が南勢千住に新設され、南勢橋架換は、本年度から2ヶ年継続事業として行うもので、猿別川南勢地区に架橋されます。

町民のスポーツ・レクリエーション



の場 2千2百50万円……住民の健康増進と体育育成を目的に、幕別都市運動公園、札内中央児童公園の整備事業が進められる。幕別都市運動公園は、幕別小学校の南猿別川にそって、8万2千㎡の用地に、陸上競技場、野球場、球場などを配し、昭和47年度からの継続事業で、完成は昭和51年度となっているが、本年は、野球場、陸上競技場の一部、道路工事を行う。札内児童公園は、札内役場支所前2千3百82㎡の用地に、フェンス、播芝、緑石工事と遊具施設を配する。

住宅の建設・宅地の造成 7千7百67万円……住宅不足の解消と不良住宅の改善から、公営住宅25戸と道営住宅32戸（道費事業）、分譲住宅13戸（町公社事業）合せて70戸の住宅が建設されます。

宅地事業は、町公社事業として行うものであるが、札内市街の現あかしや団地に隣接する地域の開発を行う。広域水道事業として幕別、札内両市街地及び周辺の農村地域を合せて上水道を設置しようとするもので、昭和48年度から継続事業として施行中である。

町独自の福祉政策

国民宿舎老人バスの発行 65才以上の老人に対して、国民宿舎無料バスを発行し、休けい室を開放し随時利用していただきます。

健康老人コンクール 町内在住者

の75才以上の老人を対象に、老人健康診査と併せて、健康老人を表彰する。

勤労者生活資金貸付制度の創設 勤労者生活資金貸付制度が本年度より新設され、原資1百万円を以って基金制度をつくり貸出しを行う。貸出金5万円以内、利率3%償還期間1年以内とする。

労働金庫積立 6百万円……勤労者の住宅資金、生活資金など貸付原資として予託します。

産業基盤の整備事業

農業の振興 1億3千5百36万円……農業構造改善事業は、本年度から4ヶ年計画継続で実施し、明倫・古舞・駒島地区の農業近代化施設の予算が計上されています。

肉牛振興対策として、肉牛の自然交配を目的とする肉牛繁殖牧場を設けます。

乳牛育成牧場事業としては、従前から行っています放牧事業のほ



か、昨年完成した保育牛舎を利用し、仔牛の舎飼保育を実施いたします。

農用地の開発 国営・道営事業として、優良農地の開発、明渠排水事業が行われます。

国営事業としては、約11億円の事業量となり、古舞地区農用地開発事業の外4ヶ所、道営事業として、約1億円で西糠内地区明渠排水事業の外3ヶ所で、それぞれ実施されます。

教育施設の整備事業

札内統合中学校の完成 2億2百万円……昭和47年度から継続事業として建設中の統合校舎が本年度完成し、50年度より白人・途別・古舞の3校が統合されます。

スクール・バスの購入 2百55万円……豊岡小学校閉校に伴い、50年度より統合により、26人乗りバスが購入されます。

教職員の住宅の建設 1千2百万



円……札内統合中学校建設にかかるとる教員住宅木造モルタル造り3戸建設されます。

社会福祉の向上

福祉バスの購入 7百万円……老人・児童・母子家庭などの福祉を高めるため、会合・研修・慰安など幅広い目的に利用するために購入されます。



街路灯の新設 1千万円……水銀灯、30灯、白熱灯 70灯が設置され、現在町内には、1千50灯の街路灯・防犯灯が設置されていますが、年次計画を以って増設を行っています。

各種年金制度 6百53万円……老年金（75才以上・4百人）、ねた切り老人見舞金（18人）・重度障害児見舞金（8人）・災害遺児年金（17人）などの社会福祉の充実をはかり、民生委員活動をより助長し、恵まれない人たちへの血の通った行政をすすめてまいります。

300人の住民が参加 交通事故絶滅町民の集い

交通事故の被害者になつても加害者になつても一瞬にして、平和な家庭が破かいされ、家族のみんなが暗い毎日を過ごさなければなりません。

そこで、健康で平和な家庭と平和な町づくりのための町民あげて交通事故絶滅をはかろうと、幕別町、町交通安全協会主催のもとに

4月7日(日曜) 交通安全協会主催のもとに町民会館で開かれました。

この集いに約300人の町民が参加し、交通事故のおそろしさ、か

なしさを話し合い、交通事故絶滅を誓いました。

その後、幕小5・6年の生徒による交通安全作文発表会、優良運転者の表彰、映画などが行われ、また、帯広警察署員の講師による

「最近の交通事故から」と題してのユーモアあふれる講演など、参加者のみなさんに大変有意義な町民の集いでした。

勤労者に

生活資金を融資

労働組合または職員組合などの組織のある企業に勤務している方々には、各種の福祉制度がありませんが、組織のない企業に勤務して

いる方々には、冠婚葬祭などの際には、大変な思いをしていることと思います。そこで、町では、これら勤労者に対し、この4月から生活資金をお貸しすることになりました。

この制度は、正式には「幕別町勤労者生活資金貸付基金」といい幕別町に1年以上住み、町内の企業に勤務している方々が対象となり、1万円以上、5万円以内のお金を1年以内、お貸しいたします。資金は、冠婚葬祭・医療・進学などに必要な生活資金として利用していただきます。たとえば、不用意のもの、車の月賦返済金などには使用できません。利用したい方は遠慮なく、商工

ご協力ありがとうございました

共同募金の結果報告

昨年10月から行なわれた共同募金(一般募金および才末たすけあい募金)は、町民のみなさんのあたたかいご協力によって、一般募金1百37万7千62円、才末たすけあい募金85万4千5百91円という大きな成績をおさめました。

さっそく、一般募金については全額北海道共同募金へ送付いたしました。北海道全体で集った募金を道内の各施設、福祉団体へ割当配分することになっていきます。

また、才末たすけあい募金については、町内居住の生活困窮者、1百20世帯(3百9人) 各福祉施設に入院入所している1百53人の人々に、民生委員および関係町職員のご協力を得て、全額配分を行いました。

また、才末たすけあい募金については、町内居住の生活困窮者、1百20世帯(3百9人) 各福祉施設に入院入所している1百53人の人々に、民生委員および関係町職員のご協力を得て、全額配分を行いました。

自動車税が年1回の課税

納期5月15日～31日

現在自動車税は、5月・10月の2回に分けて課税されていますが、49年度より、年1回の課税となりました。

「納期内に必ず納税しよう」

十勝支庁

人事異動

4月1日付で一部の人事異動がおこなわれ、それぞれ適材、適所に職員を配置し、異動の内容は次のとおりです。

総務課

課長・二川勝美(企画課長) 課長補佐・小尾和男(総務課付) 総務課長補佐

兼管財係長・川尻博之(管財係長) 兼管財係長・早苗茂(職員係長)

総務係長・岡田和夫(総務課付) 総務係係長・岡田和夫(総務課付)

永井準一(新採) 職員係長・芝木勝幸(文書係長) 文書係長・橋本正司(商工係) 文書係・山崎優子(新採) 管財係・所行(土木係) 経理係・脇坂玲子(文

書係) 総務課付・前田兼夫(民生課付) 玉置敏夫(税務課長補佐) 課長・金沢幹彦(税務課長)

税務課

課長・杉山孝(総務課長) 課長補佐兼納税係長・小山健一(林務係長) 資産係・梅田喜通(衛生係)

課長補佐・木村茂(課長補佐) 兼衛生係長) 衛生係長・井川澄男(管財係) 保健係長・沖田信昭(東十勝消防総務係長) 保健

係・近藤房子(新採) 町民課

課長・浅見康夫(町民課広報係長兼広聴係長) 広聴係長・沢田治夫(資産税係) 広聴係・高森一男(総務係) 住民係・横沢恵子(新採)

課長・梅田音市(建築係長兼主任技師) 建築係長・額瀬良征(建築係) 住宅係・山根誠(総務係) 土木課

土木係・鎌田光洋(農業土木係) 土木課

商工労政課

商工係・山崎優子(新採) 農林課

課長補佐・山口秀勝(農林課長補佐兼農政係長) 農政係長・三井敏(農政係) 林務係長・本間哲也(農政係)

都市計画課

区画整理係長・遠藤英雄(区画整理係) 区画整理係・平野利夫(新採)

課長補佐・井沢政助(学校教育係長) 総務係主任・藤井秀雄(学校教育係主任) 総務係・先生秋広(広聴係) 前川満博(学校教育係) 総務係兼学校教育係

岡本康子(学校教育係) 学校教育係長・小野成義(学校教育係) 札内支所

教育委員会

総務係長・井沢政助(学校教育係長) 総務係主任・藤井秀雄(学校教育係主任) 総務係・先生秋広(広聴係) 前川満博(学校教育係) 総務係兼学校教育係

岡本康子(学校教育係) 学校教育係長・小野成義(学校教育係) 札内支所

総務係長・渋谷真一(温泉ホテル総務係長)

課長補佐・梅田音市(建築係長兼主任技師) 建築係長・額瀬良征(建築係) 住宅係・山根誠(総務係) 土木課

土木係・鎌田光洋(農業土木係) 土木課

課長補佐・梅田音市(建築係長兼主任技師) 建築係長・額瀬良征(建築係) 住宅係・山根誠(総務係) 土木課

保育所

保育所 保育母・託間君恵(新採) 林妙子(新採) 角元栄(新採) 八住智子(新採) 幕別温泉ホテル

総務係長・長屋忠弘(住宅係) 浅田輝喜(新採) 三好美智子(新採)

農業委員会 農地係長・田中久也(農業委員)

東十勝消防事務組合 総務係長・佐藤正昭(札内支所)

4月17日付 農政係・北原道喜(林務係) 林務係・飛田栄(森

林組合)

林務係長・佐藤正昭(札内支所)

49年の歴史にピリオド

豊岡小学校の閉校式

49年の歴史をもつ豊岡小学校が
廃校、幕別小学校に統合されるこ
とになり、3月21日午前10時から



伝統をほこる豊岡小も廃校

町長・議長・教育長・
児童および校下父兄・
来賓多数が出席して閉
校式が開かれました。

豊岡小は大正15年4月に白人小
学校稲志別特別分教場として創立
され、昭和4年に稲志別尋常小学
校となり、戦後豊岡小となり、こ
れまでの卒業生は2百67人・在籍
児童数は12年の68人をピークに入
学児童数が減り始め、昨年4月、
初めて10名を割ったところから、
幕別小に統合することになったも
のです。

式典では町長の式辞のあと、歴
代PTA会長、現職教職員に感謝
状を贈り、永年にわたる労苦を感
謝し、また、在校生に記念品を贈

り「新しい学校に変わりますが、元
気に勉強して立派な人になってく
ださい」と激励しました。
なお、町内の学校統合で閉校は
豊岡小が4番目とよっています。

道自然保護地域に 糠内神社など指定

最近、社会の急速な
発展に伴い一部の地域
では貴重な緑地や美し
い景観地が失われてゆ
く傾向にあり、私たち
の生活環境にも、えい
きようがあらわれはじ
めてきていますが、こ
のようなことから道で
は北海道の自然を積極
的に守り、健康で緑豊
かな生活環境を末永く

確保するため、昭和45年10月に北
海道自然保護条例が制定され、こ
のたび「糠内神社の森」、「新田
牧場」、「新田ベニヤの森」など
が自然保護地域に指定されました

糠内神社の森

カシワの大径木が数10本残存し
その周辺にはエゾムラサキツツジ
が群生しているので早急に保護を
加えなければ将来減少するおそれ
があり、又附近に湧水も豊富で住
民の憩の場として利用されている

新田牧場

十勝平野の原植生であるカシワ
樹林が新田牧場の草原に囲まれた
良好な景観地、又北海道の花、ス
ズランの生育地でもあり、学術上
貴重な場所で保護を加えなければ



保護地域に指定された糠内神社

新田ベニヤ工場の森

十勝平野の原植生であるカシワ
の大径木が散在しており、工場か
んきょう緑地として保護が必要。

町内にはまだまだ自然保護地域
として指定されなければならぬ
所がたくさんあり、町民一人一人
が自然を愛し、住みよいかんき
ょうを造りましょう。

お気軽に相談ください

交通事故相談

交通事故の増加にともない、こ
れの被害者・加害者となつてその
処理・解決に困つておられる方が
多いと思います。

町では、これに対応するため、
町民課で交通事故相談に応じてお
ります。ここで処理のできないも
のについては、町の顧問弁護士、
交通安全協会で委嘱している相談
員に連絡し指導をうけることがで
きますし、必要に応じて紹介もい
たします。お気軽にご相談くださ
い。

みんなの広場

近隣センターめぐり ①

旭町団地

近隣センター(幕別)

まち の 話 題

旭町団地(公区長・佐々木新次
郎さん)は、45年帝国繊維工場の
跡地を町が買収、宅地造成し、5
百戸を収容できる宅地が完成され
幕別のベットタウンとして、公住
役員職員住宅、一般住宅、あわせ
て現在1百75戸の大世帯の新興団
地である。

福祉活動など活発に利用

この団地内
に48年待望の近隣センターが建設
され、日増しに利用者がふえ、会
議、料理講習会、法要、葬儀など
空いている時のほうが少ないほど
の利用率です。

また、週の例会として、老人ク
ラブ、卓球、書道と巾広く利用さ

ね……と話し
ておりました

このセンターも、今では地域住
民に欠くことのできないものとな
っています。近隣センターは町民
のものです。お互いに使いま
しょう。

次回の近隣センターめぐりは、
春日団地を予定しております。



熱心に手習いをうける
公区のみなさん

100番通話はラッシュをさけて!!

春です! 行楽や仕事のごとで、100番通話を利用される方が増えています。

▶特に、朝の6時から8時頃までと、夜の8時から10時頃までは、100番通話は大変こみあい、かかりにくくなっています。

▶十勝管内への通話は、夜間割引の対象になりません。

▶あなたの電話をかかりやすくするために、こみあう時間をさけるか、ダイヤルできる電話からの通話は

「便利で割安な」ダイヤル通話を利用ねがいます



帯広電報電話局

町柔道連盟新役員

幕別町柔道連盟の理事会が2月14日に開催され、新役員が次のとおり選出されました。

▽名誉会長―中島国男 ▽顧問―五十嵐吉三郎・池下功一・新田彰生 ▽相談役―館喜雄・福田省市 牧野朝美津・横山義雄 ▽会長―



あかちゃんに色紙の記念品を

町では、4月1日受付からの出生届の父母に、手がたつ足がたの色紙を記念品として差上げることにになりました。

これは、赤ちゃんが健康で、すこやかに育っていただき、一生の思い出を永く記念できるものとして保存していただくこと、このほど本町に住む佐藤次男さん(二女保子ちゃん(写真))が第

山田栄 ▽副会長―逢坂又一・高橋昭 ▽理事長―安部政夫 ▽副理事長―小山章衛 ▽常任理事―秋葉隆一・折笠政弘・金野忠・夏井輝之 ▽理事―相原毅・小川貞信・貝森拓司・牧野通幸・三井政雄・横山武 ▽監査役―林照夫・宮垣敏男

1号として贈られました。なお、記念品は町民課住民係で出生届の際にお渡しいたします。



- 森田 敏通さん(相川) 三男 哲 也くん 2・20生
- 斉藤 賢一さん(大豊) 長女 八千代ちゃん 3・2生
- 吉田 修司さん(旭町) 長女 香織ちゃん 3・2生
- 澤田 治夫さん(宝町) 長男 直樹くん 3・7生
- 鈴木 敏男さん(新町) 二女 真美ちゃん 3・18生
- 品田 達美さん(新町) 長男 秀彦くん 3・19生
- 木村 秀司さん(大豊) 長男 賢司くん 3・18生
- 福島三木夫さん(南勢) 長男 到くん 3・13生
- 坪原 正佳さん(旭町) 長女 幸子ちゃん 3・20生
- 大内田光雄さん(新町) 長女 みゆきちゃん 3・27生
- 岡本 光生さん(南町) 長男 尚史くん 3・3生
- 福島 正さん(札内) 二女 美智子ちゃん 2・17生
- 中村 義則さん(途別) 長女 みゆきちゃん 2・23生
- 大橋 六郎さん(札内) 長女 さおりちゃん 2・26生
- 高橋 正之さん(途別) 二女 美紀ちゃん 2・27生

- 高橋 勇雄さん(栄) 長女 弥生ちゃん 2・27生
- 神山 政三さん(千住) 長女 孝浩ちゃん 3・3生
- 牧野 茂敏さん(栄) 二女 弥生ちゃん 3・11生
- 日野 春二さん(札内) 二男 巧成くん 3・13生
- 神山 央さん(札内) 長女 文明ちゃん 3・23生
- 松本 勝美さん(札内) 長女 加奈美ちゃん 3・4生



- 三好 和雄さん(小林) 幸町 助川 順一さん(浅野) 猿別 大木 慶三さん(石母田) 明野 久保 幸一さん(山田) 大豊 横井 阿生さん(紺野) 旭町 桑井 芳弘さん(菅原) 旭町 樋口 政美さん(戸枝) 緑町 藤井 敏雄さん(足立) 札内 佐藤 真一さん(鳴木) 千住 出光 輝忠さん(北嶋) 札内 佐賀 勉さん(小川) 札内 五十嵐 宏さん(宮川) 依田 奥田 文雄さん(正保) 日新 斉藤 敏則さん(菅原) 札内
- 高田 善八さん(軍岡) 67才
- 西村 イトさん(糠内) 78才
- 吉田 忠さん(明倫) 22才
- 佐々木清一さん(札内) 74才



訂正
三月号の本紙で掲載した「おめでとう」の中で、小笠原孝一さん(大豊)となつておりますが、小笠原均さんが正しいので訂正し、お詫びいたします。



2万円 小笠原和子さん(寿町) 転出につき、お礼として町社へ。
500円 匿名の方より、社協へ
5千円 荒ハツさん(依田) 夫・兵蔵さんが生前お世話になつたお礼として札内寿会へ
日用品他 幕別町老人クラブ一同 各施設で使ってくださいと町社協へ
交通規則パンフレット2百部
幕別運送(株)社長平井幸男さんより、新入学児にあげてくださいと町交通防炎係へ。
2万円 池内弘さん(途別) 母カメさんが生前お世話になつたお礼として途別長寿会へ
1万円 柴田芳雄さん(途別) 父幸太郎さんの全快祝として途別長寿会へ
3千円 古酒イシさん(新町) 老人クラブに対して寄付
5万円 村上新太郎さん(新生) 全快祝を廃して町社協へ3万円、稲志別明寿会へ2万円寄付